

佐賀県高等学校

P T A 新聞

発行 佐賀県高等学校PTA連合会
佐賀市南佐賀3-11-15
(佐賀県立佐賀高等学校内)
電話 0952(29)2573
FAX 0952(26)5435
印刷 大同印刷株式会社

通常総会

会長に西岡豊氏を再任

佐賀県高等学校PTA連合会は6月2日(金)、佐賀市の「グラ
ンデはぐくれ」で令和5年度「通常総会」を会員各位の出席のもと、
来賓に佐賀県教育委員会副教育長・嘉村直樹様、学校教育課副課長・
山邊健仁様をお迎えして開催した。

総会では、令和4年度の事業、決算・監査報告の後、役員改選を
行い、西岡豊会長(佐賀商業高校後援会会長)を再任した。その後、
令和5年度の事業計画案、会計予算案などを協議し、提案どおりに
可決した。会の後半には、第67回九州地区高等学校PTA連合会大
会「つながり さがそう 佐賀大会」の第5回実行委員会を開催した。
今回は大会前の最後の実行委員会であることから、実際の大会の場
面を想定し、司会・進行等のリハーサルを行った。



西岡会長は、平成29年度から
佐賀県高P連の会長を務め、今
年で7年目。平成30年には、第
68回全国高P連大会佐賀大会の
実行委員長も務めた。



令和5年度 佐賀県高等学校PTA連合会新役員の皆さん

第67回九州地区高等学校PTA連合会大会
「つながり さがそう 佐賀大会」の開催



6月29日(木)はホテルニュー
オータニ佐賀で前日会議、30日
(金)は佐賀市文化会館とS A
G A プラザ(総合体育館)で九
高P連大会「つながり さがそ
う 佐賀大会」を九州各県から
約1500人の会員の参加を得
て開催した。(第4面に関連記事)

私の好きな言葉
「雨垂れ石を穿つ」
毎日の何気ない笑顔、言葉、気配り、そして小さな努力。
その一つ一つの積み重ねが、今は結果は出なくとも、い
ずれ必ず結果としてあらわれる。
人を大切に、自分を大切に。目には見えない小さな小
さな努力は、やがて大きな結果を導いてくれると信じ、
今日も明日も小さな努力を続けたい。
致遠館中学校・高等学校後援会会長 山口 美恵

議事

- 一 令和4年度事業並びに決
算・監査報告
事業及び会務報告の後、決算・
監査の報告を行う。
収入 1324万1222円
支出 1205万6822円
差引 118万4400円
(次年度へ繰越)
二 役員改選
会長に西岡豊氏を再任。副会
長、理事、監事共に左表のとおり
承認された。
三 令和5年度事業計画案・予
算案審議
事業については例年どおり、
佐高P連の地区別指導者研修会
を全地区(5地区)開催予定で
準備を進め、新聞も10月と1月
の2回発行することとした。

- 佐賀県高P連の主な事業計画
は、次のとおりである。
①通常総会 6月2日(金)
「グランデはぐくれ」
②第67回高P連大会
「佐賀大会」 佐賀市で開催
「宮城大会」
8月24日(木)・25日(金)
カメイアリーナ仙台 ほか
④地区別指導者研修会
▽鹿藤地区 10月2日(月)
嬉野市中央公民館
▽杵西地区 10月13日(金)
白石高校普通科キャンパス
▽佐城地区 10月26日(木)
グランデはぐくれ
▽三神地区 11月29日(水)
三養基高校同窓会館予定
▽唐松地区
11月に開催予定

令和5年度 役員の皆さん

Table with columns for positions (President, Vice President, Council Members, etc.) and names of the 2025 staff members.

※なお、西岡豊会長は、九高P連副会長、全国高P連専務理事も兼任

お知らせ
第68回九高P連大会
「熊本大会」
令和6年
6月20日(木)・21日(金)
第73回全国高P連大会
「茨城大会」
令和6年
8月22日(木)・23日(金)



【旧役員代表挨拶】
役員改選の後、旧役員を代表
して、致遠館中学校・高等学校
後援会の花田勇一前会長から退
任のご挨拶をいただいた。

春 秋
「ポストコロナ時代の新しい学び」
5月8日以降新型コロナウイルスは5類へ移行したが、学校教育に多大な影響を及ぼした。学校では学びの機会を保障するため、臨時休校や出席停止者(濃厚接触者)等への対応としてオンライン授業を実施した。緊急対応として導入された措置である。通常の授業に比べ板書の文字が見えづらいなどあったが、録画により理解できなかったところを再度見直すことができるなどの利点もあった。また天候不順や交通機関の混乱などで登校できない生徒にとっても、学習機会の充実に繋がり、これも大きな利点である。
一方で、オンライン授業が適切ではない教育分野も存在する。農業系、工業系、体育系、芸術系における実験・実習授業や実技・演習授業などがそれに該当する。実験や実習の後の実験結果の整理や実習レポートなどは学習用PC等を積極的に活用しデジタル資料として残すべきと考えられる。しかし、実際に手や体を動かすことにより得られるべき技術は、適切な指導者の下、安全に配慮しながら実際に自らの体(手足)を操作することによって学ぶ以外の手段はない。
特に農業系の学校においては、人間が持つ五感を使って動植物を育てることの楽しさや命の大切さを実感する学習を行っている。ポストコロナの時代、実習・実験授業や実技・演習授業の重要性を再認識し、オンラインに「適した学び」と「適さない学び」の区別や適切な組み合わせを研究し、新たな学びの方法を考えていきたい。
唐津南高等学校 校長 江島 博文

文部科学 大臣表彰

(優良PTA)
佐賀西高等学校後援会

令和5年度優良PTA文部科学大臣表彰を佐賀西高等学校後援会が受賞しました。日頃の熱心なPTA活動が評価され、全国高P連大会宮城大会において表彰されました。



(PTA活動振興功労者)
同じく宮城大会においてPTA活動振興功労者表彰を左記の2名の方が受賞されました。
佐賀北高等学校後援会
元会長 野中 宣明氏



致遠館中学校・高等学校後援会
前会長 花田 勇一氏
通算7年にわたり本校PTAの会長などの役員を務め、本校の教育活動に対する協力並びに援助を達成するために活動した。定期評議員会や学校祭をはじめとする学校行事を支援するとともに、大学訪問等を行った。

功労者
花田 勇一氏
豊村 貴司氏

優秀単P
校 高 校
木 高 校
津 高 校
牛 高 校

表彰
全国高P連

教育振興会では、厳木駅を地域の交流・活性化の拠点ととらえている。令和4年度においては、本校ボランティア部・美術部の生徒とともに土曜夜市に協力するなど、地域活性化に取り組んだ。また、食物研究部が考案したパンを地域のパン店と協力して販売した。

厳木高等学校教育振興会



武雄青陵中学校・武雄高等学校PTA 前会長 豊村 貴司氏
中高一貫校である本校で、中学・高校と長年にわたり教育活動に対する支援を行った。高校では副会長1年、会長4年と常にPTA活動の中心として活躍した。PTA役員・本校職員からの人望も厚く、PTA活動が円滑に進行できるよう運営に携わった。

受賞者の顔



有田工業高等学校全日制PTA 前会長 安元 孝史氏
令和2年度より3年間にわたり本校全日制PTA副会長、会長として、本校PTA活動にご尽力いただいた。PTA活動以外にも甲子園大会出場に伴う寄付金集め等にも協力していただいた。



東明館中学校・高等学校後援会 前会長 北島 正晴氏
後援会役員として5年間、うち1年間に会長として務められた。新型コロナウイルス感染症により活動が制限された中でも、可能な限りコロナ前の活動を取り入れながら、役員および会員の親睦を深め、会の運営に取り組まれた。

牛津高等学校PTA

PTAの目的を達成するため、学校と連携を図りながら教育活動等への援助を行っている。学期ごとの役員会や朝の挨拶運動、

学校・企業訪問、体育祭や文化祭での受付など、会員が協力して子どもたちの成長を支える活動を継続的に行っている。



九高P連佐賀大会 広報紙コンクール参加校

- ・香楠中・鳥栖
- ・「香楠中・鳥栖高PTA新聞」
- ・神 崎
- ・「かちがらす」
- ・佐賀東
- ・「東風」
- ・佐賀西
- ・「薫楠」
- ・佐賀北
- ・「朝の風」
- ・致遠館
- ・「飛躍」
- ・小 城
- ・「小城高PTA会報」
- ・唐津西
- ・「まつら」

表彰
九高P連

功労者
安元 孝史氏
北島 正晴氏

優秀単P
校 高 校
神 崎 高 校
伊 万 里 高 校

伊万里高等学校後援会

本校後援会は会員相互の親睦を図りながら、お互いに協力して家庭や社会と連携し、本校の教育活動の推進や事業の支援に貢献している。
広報部(後援会新聞づくり等)と総務部(挨拶運動・大学訪問等)を活動の場として諸事業に積極的に取り組んでいる。
面の支援により、本校の教育活動にも尽力している。

神埼高等学校後援会



本校の後援会は、学校祭の準備期間における登校指導や、後援会新聞の作成など、会員間の連携により継続的に活動している。また3年生激励会の実施をはじめ学校行事における物心両



佐賀大会での広報紙展示の様子

- ・伊万里 「笹尾台の風」
- ・武雄青陵中 「若葉」
- ・鹿 島 「鹿高祭 特番」
- ・高志館 「瀬の音」
- ・伊万里実 「なご実」
- ・佐賀農 「大地」
- ・佐賀工 「かけはし」
- ・有田工 「有薫」
- ・鳥栖商 「飛翔」
- ・佐賀商 「恒星」
- ・唐津商 「桐庭」
- ・神埼清明 「生命」
- ・嬉野(塩田校舎) 「観瀾亭」
- ・東明館 「基の山城」
- ・早稲田佐賀 「唐津の風」
- ・九高P連佐賀大会の広報紙コンクール審査の結果、佐賀西の広報紙「薫楠」は優秀賞を受賞。



令和 5 年度 嬉野高校 PTA 総会

嬉野高校は、前身の塩田工業高校と嬉野高校が統合し、平成 30 年 4 月に新しい嬉野高校として開校、今年度創立 6 年目となる学校である。一つの学校となつたものの、校舎制をとる高

PTA 一本化!

嬉野高等学校

校としては佐賀県内では最も校舎間の距離のある学校である。そのため、生徒間の交流や学校行事の合同開催など一つの高校としての一体感の醸成が課題となっている。



嬉野高校 PTA 新聞編集委員会

そのような中、昨年度から進められてきた PTA の一本化計画。これまでは校舎ごとの活動となっていたが、役員構成や PTA 事業を合わせることににより保護者同士の一体化を促し、生徒のよりよい成長に寄与することを目的として統合されることになった。令和 5 年 5 月 13 日(土)に両校舎合同での PTA



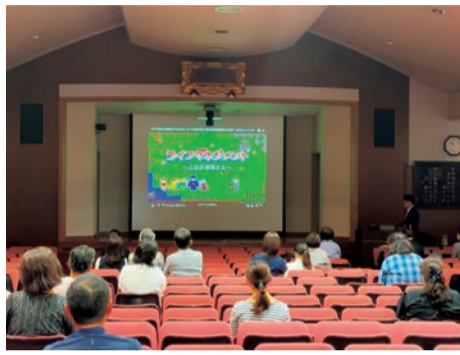
両校舎で行われた PTA 挨拶運動(塩田校舎)



両校舎で行われた PTA 挨拶運動(嬉野校舎)

総会を開催し、嬉野高校 PTA が一つの組織となった。昨年度まで各校舎で実施していた PTA 関連行事を両校舎合同で行い、PTA 新聞も合同で制作する。保護者、職員そして生徒が、一つの高校で学んでいる一体感が今後さらに高まっていくことを期待されている。

シリーズ No36 頑張ってるね!! 輝いてるね!!



7 月 1 日(土) 保護者研修会を開催。今回は、生徒がライフマネジメントをする上で考えるべきことを保護者の皆様にも理解していただくことを狙いとし、アクサ生命(株)のファイナンシャルプランナーである中川陽氏を講師としてお招きしました。この企画はエフエム佐賀とのコ

保護者研修会「金融経済教育」 龍谷高等学校



ラボにより実施。研修会終了後参加されている保護者へのインタビューも予定していました。「人生を経営する」という視点から必要とされる金融リテラシーを身につける講座」という演題で生徒に必要な資産形成の知識とは何かについて講演していただきました。少子高齢化に伴い、

若い世代の負担が今後さらに大きくなることを踏まえ、国も資産運用を勧めている社会的背景やその資産運用の在り方、それに伴うリスク等、大変わかりやすく説明していただきました。自ら希望し研修会に参加してくれた本校 3 年横須賀愛理さん、保護者の皆様の反応もよく講演後のインタビューも有意義なものでした。保護者の皆様には是非とも子どもさんとの将来のライフマネジメントに関わる会話に繋げてほしいと思います。



佐賀県が令和 4 年度から 3 年間計画で「SAGA 唯一無二の学校魅力化実践事業」に取り組んでいます。本校は SAGA スマートラーニング (SSL) の指定校になっており、地域課題研究やボランティア等を通じて、地域を知りもつと地域と積極的に関わることを目的として活動しています。

今回は本校の主なボランティア活動を紹介します。昭和 53 年創部のあすなろ部は、自分でできるささやかなことを大切に、楽しみながら地域や社会とつながり自分たちの成長にもつなげたいとの思いで、現在 9 名で活動しています。週に 2 度、地元中原小学校の児童保育「ひまわり児童クラブ」に行き、小学生の子どもたちと遊んでいます。

また、月に一度、中原子育て支援センター「とっこい子育て広場」で、季節のイベントや未就園児とのふれあひにも参加しています。

実施しています。

地域とのつながりをより密に 三養基高等学校

次回予告



日本語教室

最近のみやま町との連携を図り、「図書館おはなし会」「みやまやま町日本語教室」「みやまマルシェ」「長崎街道ウォーキング&マルシェ」などのイベントに希望者が参加させていただいています。



実施しています。

今回のシリーズ 37「頑張ってるね!!輝いてるね!!」は、佐賀県立白石高等学校と佐賀県立唐津特別支援学校の掲載を予定していますので、楽しみにしてください。このコーナーは、各地区代表の 5 校を毎年 2 回に分けて、生徒や保護者の活動や活躍を紹介しています。

香橋中・鳥栖	野々下みどり
佐賀西	枝國源一郎
致遠館中・高	花田 勇一
唐津西	濱道 正和
武雄青陵中・武雄	豊村 貴司
白 石	川崎 信
唐津南	百武 哲治
伊万里実	栗原 進一
佐賀農	福田 昇悟
鳥栖工	木下 剛
鳥栖工定	中川かおる
有田工	安元 孝史
鳥栖商	島 和也
唐津商	百束 格
牛 津	山田 美穂
神崎清明	久田 幸作
唐津青翔	石丸 知弘
東明館中・高	北島 正晴
早稲田佐賀中・高	前田 耕介
早稲田佐賀中・高	大河内正康
致遠館中・高	花田 勇一
東明館中・高	北島 正晴
佐賀学園	村瀬 正行
唐津西	濱道 正和
有田工	安元 孝史
太 良	松本 繁治
鳥栖商	井上 健史
白 石	川崎 信
有田工定	松下 直稔
佐賀西	青木 勝彦
東明館中・高	神野 元基
佐賀学園	福地 昌平
唐津西	下村 昌弘
有田工	山崎 哲也
太 良	今田 康光
三養基	山田あおい
厳 木	松田 弘衣
佐賀農	福田 昇悟

佐賀県高 P 連表彰 (敬称略)

第67回九州地区高等学校PTA連合会大会「つながりさがそう佐賀大会」

第67回九州地区高等学校PTA連合会大会「つながりさがそう佐賀大会」は、6月29日(木)・30日(金)の2日間、九州各県から約1500人の会員の参加を得て佐賀市内で開催しました。

第1日目は、ホテルニューオータニ佐賀において、全体会、4委員会、理事会・総会を行った後、翌日の大会の運営打合せ会を行いました。

第2日目の午前中は、SAGA Aプラザ(総合体育館)と佐賀市文化会館において、3つの分科会を行いました。第1分科会では、唐津工業高等学校PTAの末次知浩会長に「青少年の健全育成とPTA活動について」発表をしていただきました。



また、第3分科会では、佐賀東高等学校演劇部による演劇上演の後、「新時代の『大人』に、未来を託して」というテーマで保護者、先生、生徒の代表者によるパネルディスカッションを行いました。



午後は、鳥栖商業高等学校ダンス部によるアトラクションの後、開会式、記念講演、閉会式を行いました。記念講演では、大阪大学名誉教授の小野田正利先生に「人としての尊厳の大切さ」という演題で講演をしていただきました。



閉会式では、西岡会長から次期開催地の熊本県連の浅見会長に大会旗を引き継がれました。

九州地区高P連大会

「つながりさがそう佐賀大会」(発表概要)

第1分科会

青少年の健全育成とPTA活動について

～学校行事と連携した活動を目指して～

佐賀県立唐津工業高等学校
PTA会長 末次 知浩

はじめに

「学校と家庭及び地域社会との連絡・提携に関して、保護者と教職員が協力しながら、学校の目指す教育の振興に努めていく」という目的を掲げ活動している。

学校行事とPTA活動

(1)総会

出来るだけ多くの保護者に出席してほしいという思いから、学校に対して、日曜開催で総会の前に担任の授業参観を設けて頂くことと、総会の後、希望者は担任面談を設けて頂くことをお願いしている。



(2)文化祭

クラス委員を中心に、最近ではカレーライス販売をしている。これまで豚汁とおにぎりセット、焼きそばなどを手がけてきた。



(3)企業見学会

卒業生の就職先視察と役員相互の交流を兼ねて、11月に実施している。今年度から、県内から九州内に見学の幅を広げたいと思っている。

(4)全校マラソン大会

毎年、12月に10kmのマラソン大会が開催されるが、ゴールした子どもたちに喜んでもらうと「うどん」を提供している。

(5)卒業生激励会

2月の最終登校日に「ぼた餅のように心は丸く、芯は粘り強い子」になっ てほしく「ぼた餅」を提供している。パックの包み紙にはクラス写真を貼っている。

終わりに

子どもたちには、応援してくれる人の存在を実感してほしいと思う。その実感が子どもたちの活力となり、周囲への感謝の気持ちを育み、信頼関係が築かれていくと思う。

全国高P連大会

宮城大会(8月24・25日)

大会テーマ

「豊かな杜につむぐ虹の光」
「しなやかな強さで生き抜く力」

142名が参加!

第72回全国高P連宮城大会は、8月24日(木)、全国各地から約6千名の会員が参加し、仙台市のカメイアリーナ仙台をメイン会場として開幕した。

第1日目は、6つの分科会が会場ごとに分かれて開催され、最初に宮城県の高橋生によるアトラクションが映像上映された。その後、開会行事が行われ、基調講演、パネルディスカッション、閉会行事と続いた。

第2日目の8月25日(金)は、アトラクションの後、町田さやか大会実行委員長による開会の挨拶があり、一般社団法人全国

高等学校PTA連合会山田博章会長の式辞、文部科学副大臣など来賓の祝辞、表彰式と続いた。表彰式では本県から、優良PTA文部科学大臣表彰を佐賀西高等学校後援会が受賞、また、個人表彰では、致遠館中学校・高等学校後援会の花田勇一前会長と、佐賀北高等学校元会長の野中宣明元会長が受賞された。

続いて行われた全国大会会長表彰の優秀単P表彰では、厳木高等学校教育振興会と牛津高等学校PTAが、功労者表彰では、致遠館中学校・高等学校後援会前会長の花田勇一氏と武雄青陵

中学校・武雄高等学校PTA前会長の豊村貴司氏が受賞された。その後、「伝わる言葉」失敗から学ぶ」という演題で、昨年全国高校野球選手権大会で東北初の全国制覇に導いた須江航監督による「記念講演」があった。今年も決勝戦を終えたばかりのご多忙な中で来場いただいた。閉会式では、来年度の開催県である茨城県高等学校PTA連合会へ大会旗の引き継ぎが行われた。



佐賀県ゆかりの学生のための寮
しょうとうがくしゃ 松濤学舎

令和6年度 入舎生募集

大学・学年を超えたつながり
さまざまな人が共同生活をする、寮というユニークなコミュニティ。大学や学年を超えて、一生ものの友人・先輩・後輩と出逢える場所です。

ホッとできる場所
佐賀んもんが集う松濤学舎は、慣れない土地で張り詰めていた心の糸がほぐれる場所です。生活をフォローしてくれる舎監夫妻がいて安心。

健康の源 美味しいごはん
自炊は時間がかかる、外食はお金がかかる。一人暮らしだとつい深かくなってしまいがちな食事。松濤学舎は食事付きの寮なので、身体にもお財布にも優しいです。

令和5年度から男女共住

募集人員 男子9名/女子5名程度

月額寮費 66,000円 全室個室 ※寮費改定予定 朝夕2食付(日・夜日を除く)

入会時納入費 90,000円 入会寄付金・施設維持費

申込期間 令和5年11月中旬～2月上旬

寮費・申込期間等の詳細は11月以降のホームページをご覧ください。

2021年に100周年を迎えました

公益財団法人 松濤学舎 佐賀育英会

Access
〒184-0013 東京都小金井市前原町3丁目3番28号
東京都 JR 中央線 武蔵小金井駅から徒歩約10分

Tel 042-381-3676 Fax 042-381-3620
Mail nabeshima2021@iaa.itkeeper.ne.jp
HP http://www.shoutougakusya.com//